3 上島町

みんながゆっくり集える島のカフェを目指して奮闘中

bookcafe okappa
鈴木 彩美
武田 由梨

book cafe okappaがオープンするまで

なぜブックカフェを開こうかと思ったのか。もともとは、人が集まる場をつくりたいという思いが出発点でした。地元の人と旅行者が緩やかに交流できる場になったら嬉しいなとぼんやり想像していました。島にゲストハウスができてから、旅行者が佐島を訪れるようになりました。今まで島民しかいなかった場所に、他者が入ってくるというのは大きな変化で、地元の方もその変化を楽しんでいるようでした。旅行者と気軽に交流できる場があると楽しいよねという地元の方の声がちらほら聞こえたことと、もともと旅行者だった私たちも散歩の途中でコーヒーを飲みながらゆっくりできる場所があったらいいなぁと感じていたことから、カフェを計画しはじめました。そこに本の要素が加わります。もともと私たちは古本屋さんが好きでした。本に囲まれた空間は落ち着きますし、店主の個性が反映された本棚を眺めていると、普段自分では選ばないような本との思わぬ出会いやワクワク感があります。また、1冊の本を読みきるくらいカフェでゆっ

佐島と私たちの出会い

こんにちは。book cafe okappaの鈴木と武田です。私たちは、2017年4月に佐島に引っ越しました。私たちはもともと友人だったわけではなく、それぞれが個別に佐島と出会い、佐島に惹かれ、引っ越しを決めました。

鈴木は栃木で生まれ、大学進学を機に上京しました。もともと、瀬戸内の島々を巡ることが好きだったこともあり、たまたまネットで検索してヒットした佐島の古民家ゲストハウス汐見の家に宿泊したことで、佐島と出会います。佐島で過ごした数日間で、旅をしているより暮らしているような感覚を覚え、佐島への引っ越しを決めます。武田は愛知で生まれ、就職を機に上京しました。たまたま旅友達の紹介で古民家ゲストハウス汐見の家のオーナーと東京で出会い、開業準備に行くオーナーについて行き佐島と出会います。もともと暮らしをつくることに興味があり、佐島で暮らしをつくってみたいという好奇心で、佐島への引っ越しを決めます。引っ越しの半年前に古民家ゲストハウス汐見の家のオーナーの紹介で東京ではじめて会いました。佐島でやりたいこと、暮らし方が驚くほど同じで、意気投合し、チーム「okappa」を結成します。この頃から、ブックカフェを開きたいねという話をしていました。

瀬戸内に浮かぶ佐島について

佐島のある上島町は、愛媛県北東部、広島県との県境に浮かぶ7つの有人島と、18の無人島からなる離島の町です。人口は上島町全体で約7000人、佐島は約500人です。私たちが引っ越してきた時、佐島には簡易郵便局と古民家ゲストハウス汐見の家があるのみでした。昼間は島外に働きに出る人が多く、とても静かで穏やかな空気の流れる島です。

青空の佐島

柑橘の木に囲まれてお花見

くりして欲しいという気持ちも込められています。

佐島に住みはじめて1年がたった頃、ようやく改修工事スタートです。もともと約60年ほど前に保育所として使われていた建物に一目惚れして、町役場の方に協力していただき、借りることができました。白い壁に水色の窓枠がとても可愛い建物です。工事はガス・水道・電気工事以外は、DIYで行いました。カフェにあるものは、ほとんどが譲っていただいた物でできています。もともと古材を使いたいねという大まかな方針はありましたが、こんなにもたくさんのものが集まるとは私たちも驚いています。ご近所さんからいただいた古い木箱を庭先で洗っていると、そういう古いのが好きなら解体される予定の古民家を紹介していただいたり、もう使わないからとお皿、テーブル、ソファなどたくさんのものを譲っていただきました。カフェの中を眺めていると、誰かの顔が思い浮かぶのはとてもあたたかい気持ちになります。

作業の合間にみんなでおやつ休憩

レスキューした家具でパッチワーク

木箱を組み立てた本棚

book cafe okappaがオープンしてから

オープンしたのが2018年9月、ようやく半年になります。この半年の間に本が100冊以上増えました。ご近所さんや、佐島によく訪れる旅行者さんからお声がけいただき、あれよあれよと様々なジャンルの本が集まってきました。私たちが普段読まないジャンルの本もたくさんあり、いただいた人の個性が反映された本たちを見ていると、こちらがワクワクしてきます。これは当初思い描いていた古本屋に入った時の感覚と同じなのです。カフェを訪れたお客さまにも、ぜひ体感していただきたいなぁと思っています。また、「これは昔流行っていた本だよ」とか、「この風景写真集を見ながら旅行先を決めていたんだよ」とか、本を通じて話題が広がり、その人の知らない一面を知るきっかけにもなっています。「頂いた本を、こんな方が読んでいましたよ」と、本を通じた出会いの話もなんだか楽しいですよね。

現在、島内の方には本を貸し出しできるようにしています。コーヒーを飲みながら読みきれなかった本を借りていく方、絵本を借りにくる近所の子供達、もっともっと気軽に立ち寄れる場所にしたいと思っています。図書館にくるような感覚でふらりと立ち寄れる場所。

今後のこと

今後は、古材や古道具など島に眠っている素敵なものたちを捨てるのではなく循環させる仕組みを考えたり、読み聞かせのイベントや音楽ライブ、その他ワークショップを企画したいなぁと目論んでいます。まだまだ成長途中のbook cafe okappaです。コーヒーが飲めるだけのカフェではなく、あそこに行ったらなんか面白そうと思ってもらえる場所にしていきたいですね。

本と古材に囲まれたカフェ